

2022年1月2日「証詞の応答と近況」

+新年おめでとうございます。

Zoom 礼拝に参加するのはまだ少し疲れるので録音で証詞と応答を聞きました。新しい年の初めに、キリスト教の愛の基本となるお話を聞くことができ、心を新たにしました。ありがとうございました。

私は12月22日に退院しました。入院中は抗がん剤の点滴後も何事もなく、三食昼寝付きを有難く受けていましたが退院後に副作用が出始め、医師によると普通より薬への反応が敏感だそうでかなり悩まされました。副作用を緩和する薬をあれこれ服用し31日にはどうやら収まり静かな新年を迎えられました。食事も取れているので段々元気になって次の治療を受けることができるのではないかと思います。私の場合はステージ2だそうで同じ治療をあと数回受けることになります。自分の体を自分でコントロールできないという体験は不思議な感覚ですが、これにもだんだん慣れてくるのかもしれない。

小池常隆さんが禁酒して元気になられたのは良かったですね。佐枝子さんは常隆さんのことがわからないようですが、認知症の人はわからないようでもどこかで分かっている部分があると言われますし、わかっても表現できない場合もあります。私の義母の10年間を見てきた経験からもそう思います。常隆さんも諦めないで遠くなくても訪ねてあげてはいかがでしょうか。

皆様のご健康を祈ります。 **榎本征子**

+愛には二つある。エロスとアガペ。我々はエロスの世界の只中で生きているが、アガペを目指すべきである。愛には、正義、平和、助け合いなどの裏打ちが必要である。裏打ち無しの愛は空虚である。

前島さんの問い

キリスト教の愛はエロスより優位か？賈先生は詳しく話して回答されていた。私流に要約整理すると、キリスト教の愛すなわちアガペはエロスより優位にある、がその実現は甚だ困難、実現は出来ない。しかし、我々キリスト者は、諸々の人も、アガペの愛に向かって努力すべきである。

(居眠りが入ったので、正確でかどうかは分からない。)

牧師さんは説教をまとめるのも大変だが、応答で回答するのは、尚大変。

付記 年末の礼拝で最年長者の祝祷、年初の礼拝最後に最年長者の祈禱をさせていただいて、名誉なことでした。 **小池健治**

+「義」という言葉を聞くと、つい仮名手本忠臣蔵の「忠義」などを連想してしまう私には、「今年は正義について学ぼう」という牧師日誌が、そして証詞で語られた「共存のための正義をベースにした愛」というものがとても大切なことである」という言葉が、とても新鮮でした。配分の正義を守ることとは、つまり愛し合い、助け合うことであり、喜び合える事であると、旧約の十戒からも説明してくださって、旧約の神と新約のイエスが繋がっていると再確認もできました。教会内のみならず世界中の人々への今年のメッセージである、愛し合い助け合うことを行なえる一年にしたいです。 **小川ひとみ**

+